

マイナ保険証
“狂騒曲”

資格確認書で十分 東京土建国保の有効期限 来年3月末

保険証の発行は2024年12月に終了し、それに代わる書類としてマイナンバーカードとひも付けた「マイナ保険証」を持っている人には「資格情報のお知らせ」、ひも付けていない人には「資格確認書」を交付。東京土建国保の保険証は年度末で切り替えるため、既にそれぞれの書類が仲間と家族の手元に届いています。

ところが、7月末で従来の保険証が有効期限を迎えた市区町村国保や後期高齢者医療制度（75歳以上の高齢者と、65～74歳で一定の障害がある人）は、対象者が約3700万人に上ることから連日新聞やテレビなどで“紙の保険証”は無効に」と大きく報じられることに。支部事務所にも資格確認書やマイナ保険証に関する相談が寄せられています。

改めて押さえておきたいのは、**マイナ保険証がなければ資格確認書を渡されます**。それがあれば医療機関にかかれるため、**従来の保険証と変わりません**。一方で、マイナ保険証は国が「診療履歴に基づいたより良い医療が受けられる」とアピールしていますが、機器の不具合などのトラブルがいまだに解消されず。「使い勝手が悪い」と憤る仲間も。**マイナ保険証の登録解除は“紙”で受け付けています**。問い合わせは支部事務所まで。

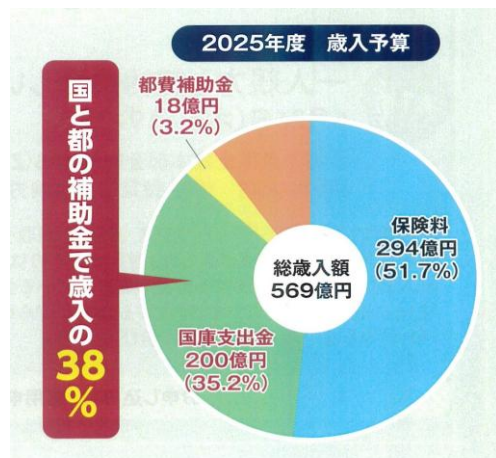
東京都への国保予算要求ハガキにご協力を8～9月

東京土建国保の運営は私たちの保険料に加え国と東京都の補助金が充てられています。2025年度の歳入（収入）のうち、都の補助金は3.2%（図）。1割にも満たないですが、この補助金を受けられるかどうかは、建設国保はもちろんのこと、**国民皆保険（どこでも誰でも医療機関にかかれる制度）の未来を大きく左右します**。

東京都へは保健医療局長、保健政策部長、財務局長、主計部長の4人に建設国保の補助金確保を求める要請を行っていきます。保健医療局は都内の国民健康保険組合を指導・監督。財務局は都の“金庫番”であり、それぞれに私たちの実情を訴えるのは理にかなっています。ただ、市区町村窓口で受け付けている国民健康保険はこうした取り組みがありません。**公営国保は法律で国や地方自治体に財政上の責任を負わせていますが、それ以外の国保組合は含まれず**。都国民健康保険委員会は1999年12月1日付で「今後とも都は国保組合を、公営保険者を補完する役割と位置付け、その育成に努めていく必要がある」と答申しているものの、**補助は国や都の“さじ加減”**と言えます。

都の補助は今からさかのぼること50年前、美濃部亮吉知事（当時）が組合側の要求に応じて実現しました。美濃部都政後は財政難などを理由に制度の存続が危ぶまれたことも。その都度**逆境を跳ね返す原動力となったのが、一人ひとりの仲間と家族が心を込めて書いたハガキ**でした。都の担当者は1枚、1枚読んでいます。

東京土建は社会保障の拡充を目指して、土建国保未加入の仲間にもハガキ要請行動への協力を呼び掛けています。この取り組みは土建国保の制度拡充にとどまらず、「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上に努めなければならない」とうたった**憲法25条の理念を再認識させ、それを実現させるよう働き掛ける役割も**。一人ひとりに関わることだから、皆さんにペンをとってもらいたいです。



戦後80年“あの時”を想像してみませんか 理屈じゃない 嫌なことは嫌 【育ち盛りにひもじい思いさせるな】

この**写真**は東京大空襲・戦災資料センター（江東区）の展示物。「黄色い子（左）と青い子（右）を比べてみよう」「黄色い子と背比べしてみよう」と書かれています。白黒印刷のため見分けが…。いずれも日本人の14歳男子の平均身長を表しており、右の子は1936（昭和11）年で152.6cm、左は1948（昭和23）年で146cm。12年で実に6.6cmも縮んでいました。

その理由は**戦争**。1931（昭和6）年の満州事変以降、軍部や政府は無謀な戦いに国民を巻き込み、日本人だけで約310万人が命を落としました。戦時中や終戦直後は一人ひとりに食料が行き渡らず、育ち盛りの子どももひもじい思いをしています。1942（昭和17）年生まれの矢吹光英さん（大泉東分会）は「いつも空腹だった」旧満州（現中国東北部）から引き揚げる途中、船内で「船員が見るに見かねて私を炊事場に連れて行き、米を炊く大きな釜の底をのぞかせてくれ、『お焦げをはがして食べなさい』と。腹が空くたびにお焦げをもらっていた」と振り返ります（矢吹さんと家族の物語は練馬支部機関紙『けんせつ北部』8月号で掲載）。

【前線に立たされるのは建設労働者】

以前自衛隊の制服組トップに話を聞きました。彼いわく「**戦争は陣地を固めることから始まる**」その担い手は、軍人ではなく建設労働者と…。戦後80年を迎え、東京土建本部中村隆幸中央執行委員長は談話を発表。その内容の一部を掲載します。

「組合の立ち上げに関わった諸先輩方は、戦争に建設職人が駆り出され、職人の技術・技能が人殺しのために使われた経験から、『二度と戦争のための工事をしない』という言葉を残しています。東京土建が掲げるこのメッセージは、過去の戦争で建設労働者が軍事施設の建設等に関わった痛恨の思いから発せられたものです。なぜ、組合が平和運動を進めるのか、それはこのような歴史があるからです」

戦時中に陣地の構築を命じられたら…、あなたは断れますか。当時の日本は“嫌なことは嫌”と言え白目で見られ、最悪の場合は命を奪われたでしょう。

【声を上げ続けられるのは幸せの証】

練馬支部は7月の憲法フェスタをはじめ、集会やデモ行進（写真）などの平和運動に力を入れています。戦時中を思えばこうした取り組みを進められるのは幸せなことではないでしょうか。

海外では今も戦争が絶えず、大勢の人の生命が脅かされています。「**なんのために生まれて なにをして 生きるのか**」（「アンパンマンのマーチ」）戦後80年の夏、そんなことにも思いを巡らせてみませんか。



*マイナ保険証を無理に作る必要はありません。よく考え、悩んだら組合へ相談を

群の仲間

2025年8月
No.351
東京土建
練馬支部

練馬区
中村北
1-6-2

TEL
03-3825-5522
FAX
03-3825-7547

集金↓「群の仲間」読み合わせ・話し合い→集金

君の意見のすゝめ

サントイッチ群会議をすすめよう

★当面の予定★

8月				
		組合活動	会議関係	その他
16	土			
17	日			
18	月		後六役会議	
19	火	納入日/総がかり行動 無料法律相談/定例拡大行動	支部四役女性四役懇談	
20	水		財政/賃金	
21	木		書記局会議:午後支部閉館	
22	金		組織/仕事	主任書記会議
23	土	子ども食堂視察		
24	日	どけんワイワイねりまの夏		
25	月	本部登録	運動会実行委員会	
26	火		分会長	
27	水	支部拡大出陣式		
28	木			
29	金	女性の会夏の交流会(支部会館)		
30	土			
31	日	防災訓練		

9月				
		組合活動	会議関係	その他
1	月			中執
2	火		書記局会議:午後支部閉館 四役	
3	水		常任	女性四役
4	木		執行委員会	
5	金		教宣/憲法平和	
6	土			
7	日	包丁研ぎ講習会		
8	月	拡大統一行動		女性役員会
9	火	憲法駅宣		
10	水	分会発送日	六役会議	
11	木	拡大統一行動/脱原発駅宣		
12	金		分会執行委	書記長会議
13	土		分会執行委	会館清掃(予)
14	日	フードバンク		
15	月			
16	火			

8/21、9/2 の午後は書記局会議のため支部事務所を閉めさせていただきます。ご協力お願いします。



▼年1回、自分の身体と“対話”を▼

☑10月26日の日曜集団健診（締切：10月10日）

2025年度2回目の日曜集団健診です。希望者は**申込書（群会議で配布）**に受診会場や氏名、健診当日の連絡先などの必要事項を記入し、練馬支部にお送りください（FAX03-3825-7547）。定員に達したら締め切り前に募集を打ち切ります。

受診時は資格確認書（または資格情報のお知らせ）の下に付いている**受診券**を必ずお持ちください。また感染症対策のため、会場内ではマスクの着用をお願いします。

☑11月1日（土）の女性健診（締切：10月17日）

東京土建国保加入の女性組合員と家族限定の集団健診を、島村記念病院（練馬区関町北2-4-2）で行います（**定員50人**）。

当日のスタッフは医師をはじめ、全員女性。一般の検査項目に加え、乳がんや子宮頸がんなど女性特有の病気の早期発見につながるオプション検査も充実しています。検査内容と定員、料金は次の通りです。

- ・乳がん（マンモグラフィ）30人、39歳以下4000円・40歳以上1000円
- ・子宮頸がん（頸部細胞診）50人、19歳以下3000円、20歳以上500円
- ・経膈エコー20人、3300円

女性の会の会員はオプション検査を受けたら補助が出ます。希望者は**申込書（群会議で配布）**に氏名や生年月日などの必要事項を記入し、練馬支部にお送りください（FAX03-3825-7547）。受診時は**受診券**を必ずお持ちください。

▼土建国保を守るために協力を▼

☑法人事業所調査

東京土建国保組合は2019年に東京都から法人事業所の業種（事業内容）を3年に1回、確認するよう指示されました。今回、練馬支部の該当事業所は244社。8月中に調査の概要を送付し、各分会にも事業所のリストを配布します。**業種確認書類を提出しなければ新年度の資格確認書などは交付されず、26年4月1日付で土建国保脱退**に。この調査は土建国保の健全運営に欠かせない取り組みです。皆さんのご協力をお願いします。

会場	定員（人）
練馬支部会館	200
大泉生協病院	150
練馬第一診療所	100



▼酷暑に負けるな！思い切り楽しもう▼

秋の拡大月間に向け仲間の結集すすめよう

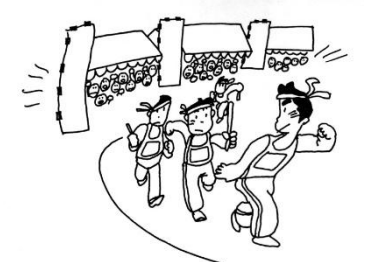
☑支部会館で夏祭り

焼きそばやかき氷などのおいしいものを振る舞うほか、子どもより大人が夢中になる木工教室（貯金箱、スマホスピーカースタンド）を開催。どれもこれも**無料**です。さあ、新加入者や分会未定着の仲間、未加入者らを誘って支部会館へ。土建を知ってもらうためには、**まずは楽しんでもらいましょう。**



☑どけんピック 9月28日（日）光が丘公園

運動会「どけんピック」は大勢の仲間と家族が参加できるレクリエーションです。当日は徒競走や玉入れ、全世代リレーのほか、“優しい”借り物競争も。閉会式は豪華賞品が当たる大抽選会を予定しており、最後まで目が離せません。一方で、支部青年部はその日の夜、「**どけんピックおつかれさま交流会**」を予定しています。いずれも詳細は群会議で配られたチラシをご覧ください。



☑横須賀・クルーズ&漁師料理 事業所交流ツアー

分会内事業所の仲間の結集を図る一環として、バスレクで“顔見知り”から“仲間”に発展。組織拡大・強化につながるきっかけをつくります。

【参加対象】分会内事業所の事業主と従業員（1社2人まで）
※東京土建組合員に限る）

【日時】10月5日（日）8時15分支部会館集合（17時30分同会館解散予定）

【場所】神奈川県三浦半島（横須賀市、三浦市の各所）

【参加費】一人4500円（先着40人）

群会議で「チラシ兼申込書」を配布。必要事項を記入し、練馬支部にお送りください（FAX03-3825-7547）。

▼困ったことがあれば練馬支部へ▼

☑次回の「無料法律相談（弁護士対応）」

【日時】9月8日（月）15～17時【内容】仕事からプライベートまで何でも個別相談【場所】支部会館【申込】予約は支部担当者へ